

52030

## 上下逆転メガネ

Inverting Prism

52040

## 左右反転メガネ

Reversing Prism

上下逆転メガネ(インバーティングプリズム)、左右反転メガネ(リーバーシングプリズム)は、直角プリズムを用いて上下(垂直方向)逆転、左右(水平方向)反転視野における知覚-運動協応の問題および諸種の視覚現象について実験的に吟味するための器材です。マジックバンドで頭部へ固定して使用します。

逆転メガネを装着する研究はドイツの天文学者ケプラーが眼の網膜像の性質に関する指摘(倒立像)に由来するもので、「網膜像が倒立しているのに外界が逆さに見えないのはなぜか」が問題とされました。この問題を最初に実験的に扱ったのはアメリカの心理学者ストラットンです。以来、この視野逆転の問題は知覚-運動協応の問題、異種感覚情報統合の問題、空間定位の問題、方向による図形認知の問題など諸種の問題へと展開してきました。視野逆転メガネは、簡単に不思議な「逆転の視覚世界」が体得できると同時に、多くの心理学的な問題を実験するのに適しています。



	上下逆転メガネ	左右反転メガネ
プリズム	直角プリズム 約60(底)×30(高)×40(厚)mm	
視野中心間隔	60mm	62mm
視野角度	水平/55 垂直/32度 水平/24 垂直/50度	
材質・仕上	プリズム:ガラス製研磨仕上げ 枠:硬質ウレタン	
寸法 (W) (D) (H) mm	約180×110×80	約180×110×70
重量	約310 g	約300 g